

続・琵琶湖撮影紀行

事務局長 池田良穂

先に北琵琶湖の撮影レポートをしましたでしたが、高速旅客船「インターラーケン」と「リオグランデ」の姿を撮影できなかったのと、琵琶湖の新造学習船「うみのこ」にも会いたかったので、再び琵琶湖に車を走らせました。

まず長浜港では、琵琶湖汽船の「べんてん」と、停泊中でしたが「リオグランデ」を撮影することができました。もう一隻の「インターラーケン」は、琵琶湖西岸の今津港と竹生島

の間に就航しているとのことだったので、今津港まで移動して撮影することができました。その後、琵琶湖の南端の浜大津港に行き、新造船「うみのこ」にも初対面できました。港には客船「ビアンカ」が並んで停泊しており、「ミシガン」はいつも通りに遊覧航海を繰り返していました。

長浜港



「リオグランデ」が停泊していました。



「べんてん」は竹生島航路に就航していました。



今津港



今津港は細長い棧橋だけの小さな港でした。



竹生島へと出港する「インターラーケン」の姿です。

浜大津港



2代目の「うみのこ」で昨年建造されました。滋賀県が所有して小学生等の学習船として稼働しています。初代は1983年の建造で、55万人余りの児童を乗せて学習航海をしました。



初代「うみのこ」の姿です。



右から「うみのこ」、「ビアンカ」、「ミシガン」です。「ビアンカ」は就航当時は宿泊型のクルーズを行っていましたが、今は結婚式等のイベントに使われているようです。